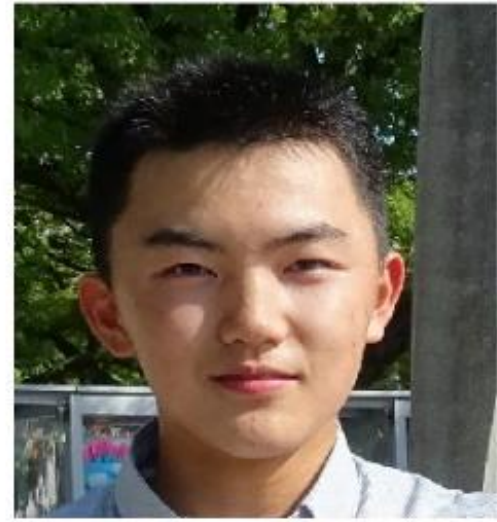


題名 原爆から学んだ平和

北押原 中学校 (氏名) 横山 幸太



活動をしていく中で原爆の苦しみから解放される
ことなく亡くなった人々のつらい思いを感じました。

資料館では、原爆において亡くなった人々の生きること

への願いを表した物があり、とてもバに残りました。また、その一つ一つから
どなたかの苦しい事があったのかも学びました。被爆した方のお話では
家族全員が亡くなってしまったり、人々の遺体が看取うれずに消えてしま
うということの悲惨な事実を学ぶことができました。

特に、現地で、日本人だけでなく多くの外国人が式を進行している人の
姿からこれから私たちが、亡くなった人々の苦しみを知るとともに、人種をこえて
平和の維持の大切さを広げていかなければならないと思いました。